

特集 5

消防体制の充実に向けて 消防庁舎建設工事が進行中

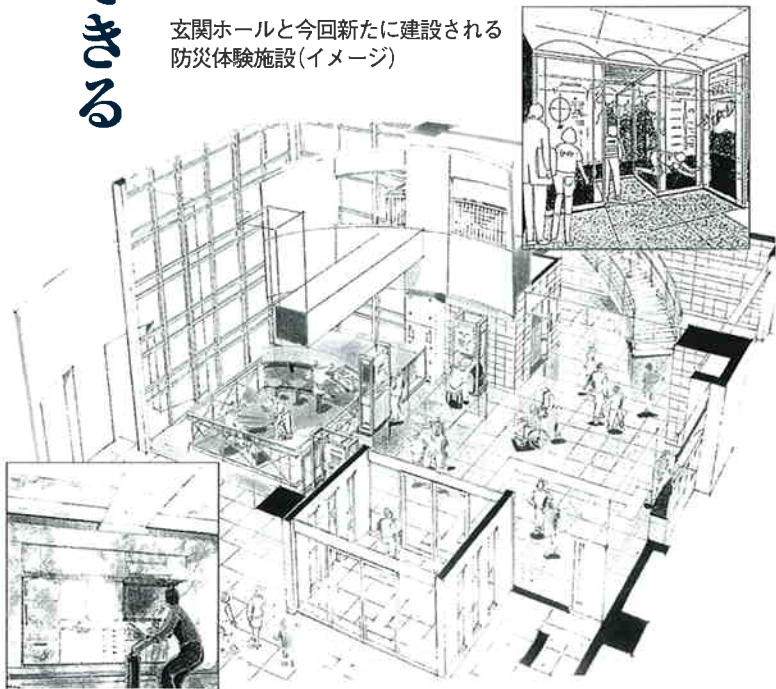
来年12月完成予定の
新消防庁舎完成予想図



平成7年9月から始まった消防庁舎の建設工事が、平成9年12月の完成を目指して着々と進んでいます。

新しい消防庁舎は、鉄筋コンクリート造4階建て、建物総面積4千457㎡で、阪神淡路大震災級の地震にも耐える構造となっています。この消防庁舎は、市民の安全を守る防災拠点としての役割から、最新鋭の消防緊急通信システムを備えた総合指令室、防災対策室、防災備蓄庫、耐震用大形防火水槽などを設置し、市民の皆さんが利用できる防災体験施設なども計画しています。

玄関ホールと今回新たに建設される防災体験施設(イメージ)



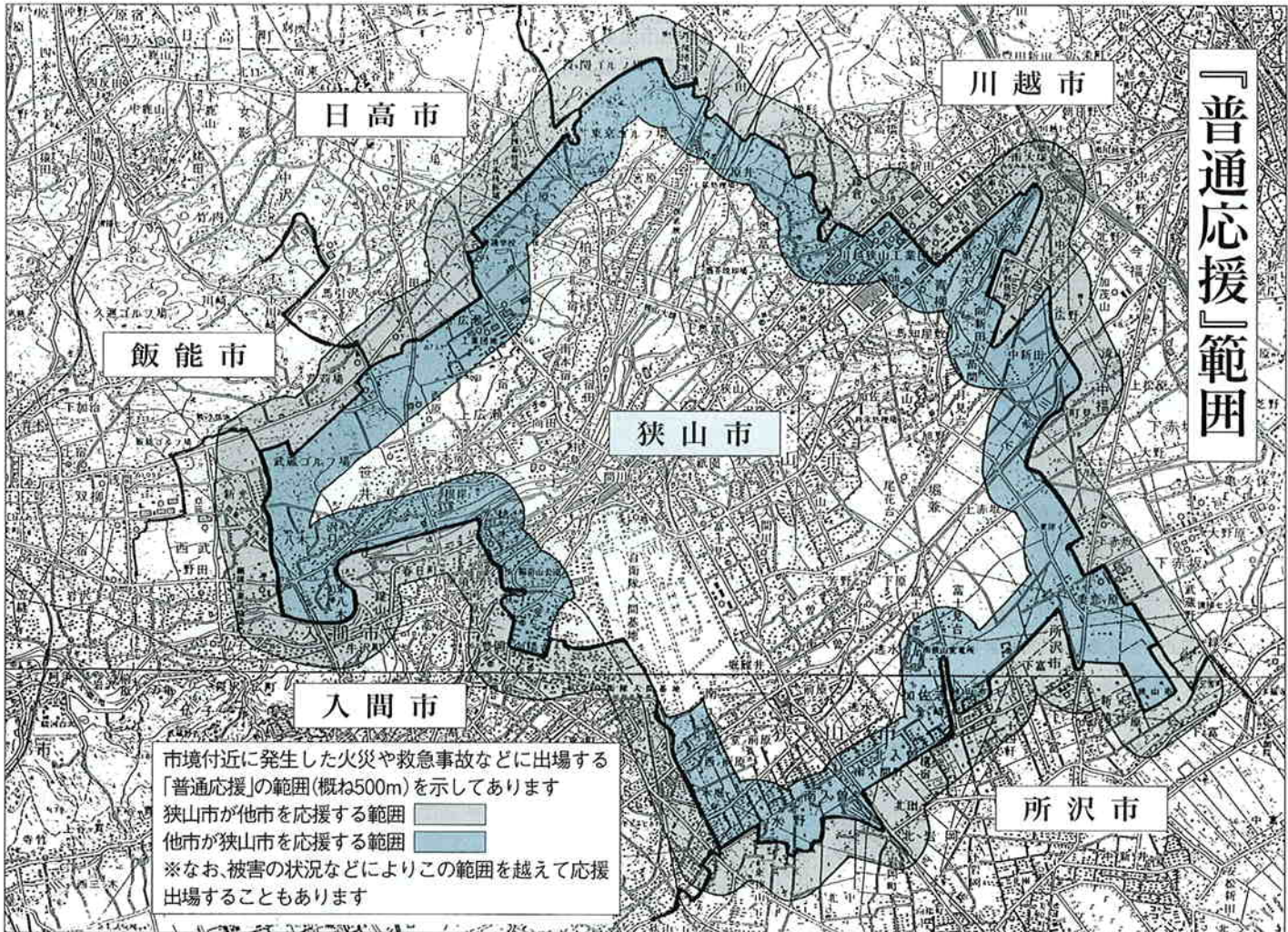
市民の皆さんが利用できる 防災体験施設を設置

新しい消防庁舎は、防災のための拠点としてだけではなく、市民の皆さんが知っておかなければならない火災や災害時などの対応や基本的な消火方法などの体験コーナーや学習コーナーなど防災体験施設が設置されます。皆さんも、「もしも」の時に適切な対応がとれるよう、この施設をご利用ください。

防災体験施設

- ①地震体験コーナー
地震の揺れを感じながら身の安全などを体験することができます
- ②119番通報体験コーナー
火災や事故のとき落ち着いて正しく119番通報ができるかを体験するコーナーです
- ③防災Q&A
防災に関する問題をゲーム感覚で学習することができます
- ④初期消火体験コーナー
消火器の正しい使い方と消火方法を体験するコーナーです
- ⑤リーダーシップコーナー
普段から、災害時の心得を学ぶことができるコーナーです

「普通応援」範囲



市境付近に発生した火災や救急事故などに出場する「普通応援」の範囲(概ね500m)を示してあります
狭山市が他市を応援する範囲
他市が狭山市を応援する範囲
※なお、被害の状況などによりこの範囲を越えて応援出場することもあります

化学消防車が更新されます

平成9年3月に電動式ホースカーなどを取り入れた化学消防ポンプ自動車を導入されます。
この消防車は、一般の建物火災などのほか大規模な油火災にも対応できるよう、空気泡発生装置を備え、500ℓの薬液と1千300ℓの水が積載されています。

消防相互応援協定を締結

地震や風水害などの大規模災害時に、相互の消防力を活用して被害を最小限に防止することを目的とした「消防相互応援協定」を近隣の消防機関と締結し、広域での消防応援活動が更に可能となりました。

この協定には、市境付近に発生した火災や救急事故などに出場する「普通応援」と大規模な火災や集団事故などに応援側の状況判断により出場する「特別応援」があり、圏央道は、最寄りのインターチェンジから次のインターチェンジまで応援出場することになっています。

また、埼玉県下の市町村や消防機関による消防相互応援協定も締結されています。

以上のように、狭山市消防本部では市民の安全を守り、災害下での迅速な消防救急活動、そのなかで被害を最小限にとどめるなど、防災拠点としての役割を一層強化し、あらゆる災害に対応し、市民の皆さんが安心して暮らせるための消防体制の充実を図っています。



4月11日、入間市と消防相互応援協定を締結

〈問い合わせ〉 消防本部へ ☎53-71111